

港区を歩く③⑦ 愛宕山・増上寺周辺と桜

今回は、愛宕山から増上寺、芝公園にかけて桜を見ながら歩きました。

愛宕山では最近、木立ちが伐採されて、木々に包まれた山といった雰囲気は薄れました。

下から見上げると、愛宕神社側よりも隣接するNHK放送博物館側の方がかつての面影を残しているように思われます。



A 愛宕神社男坂。出世の階段として有名。



B 愛宕神社。赤い門の左手に社殿がある。



C 山頂にある池



D 愛宕神社に隣接するNHK放送博物館。最近改装されました。

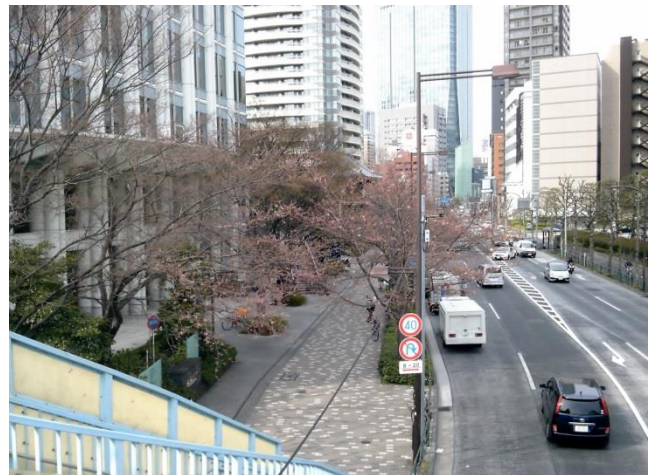
港区を歩く⑳ 愛宕山・増上寺周辺と桜

愛宕トンネルから愛宕グリーンヒルズにかけては、大規模再開発に伴って新たにつくられた桜並木が見事です。ただし、満開には、まだ早すぎました。

幹線道路を挟んだ向かい側一帯は、慈恵医科大学・病院の建物が林立しています。都立港工業高等学校跡地では、同大学の2号館及び新病院の建設工事が行われていました。



E 愛宕トンネル付近の桜。



F 愛宕グリーンヒルズ正面の桜並木。まだ、つぼみが多い。



G 趣きのある慈恵大学病院F棟。病院本院の中で最古の建物だそうです。

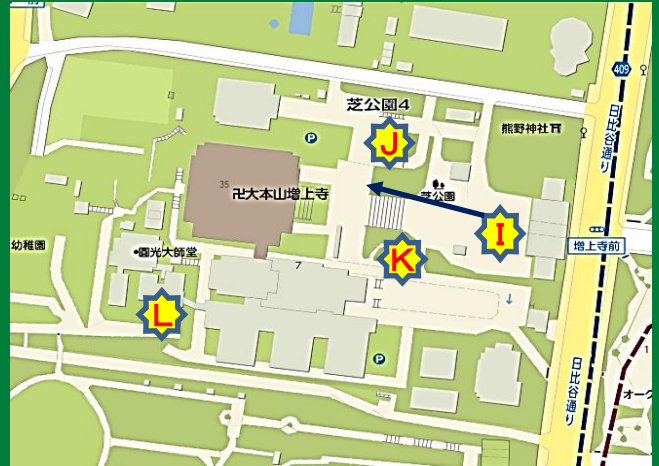


H 慈恵医科大学キャンパス再整備計画の一環で新築工事が始まっていました。

港区を歩く③⑦ 愛宕山・増上寺周辺と桜

さらに南下して増上寺境内に入ると、一気に花見客が見られるようになりました。ここは東京の花見の名所の一つといっいでしょ。300本の桜があるそうです。

外国の方、特に中国か台湾と思われる観光客らしき人々が目につきました。仏教寺院と東京タワーと桜という日本を象徴する3つのアイテムが同時に見られる稀有な観光スポットなのです。



I 増上寺大殿と東京タワー。テントの準備がされていました。



J 増上寺の撮影スポットの一つ、千手地蔵尊。



K アジアからの観光客らしき人々が目立ちました。



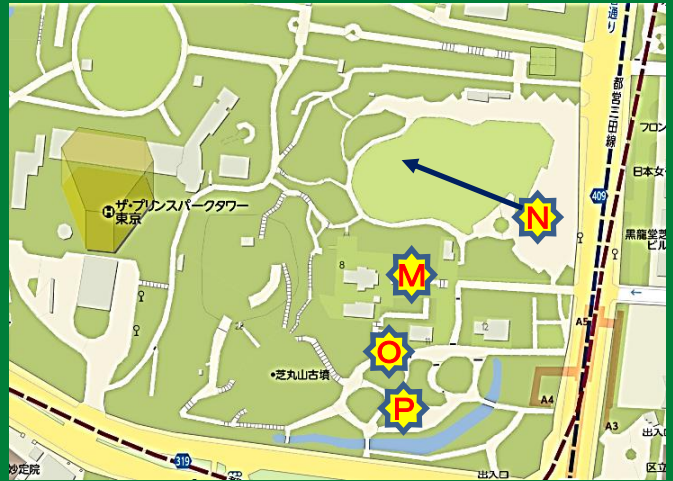
L 人の少ない大殿裏の桜

港区を歩く③⑦ 愛宕山・増上寺周辺と桜

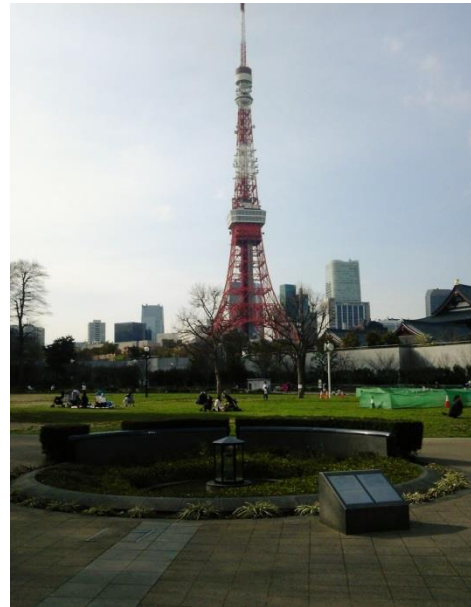
増上寺からさらに南下すると、いわゆる芝公園のエリアに入ります。芝生公園、芝東照宮を経て、公園の最南端で今回初めてブルーシートを敷いた本格的な花見客を見かけました。

今回歩いて、東京は実に桜が多い街であるということが実感されました。

撮影日：2016年3月29日



M 芝公園内の芝東照宮の桜



N 芝公園芝生広場。東京タワーの眺望確保のため港区が定めた眺望点の一つ。周辺では建築規制が行われるとのこと。



O 芝公園の南端。「銀世界」という梅の名所。



P 花見の場所取りが行われていました。